

国土交通大臣
齊藤鉄夫様

港区長
武井雅昭

羽田空港機能強化に係る安全対策等の要請について

本年2月11日に中国上海浦東空港発成田国際空港行きの日本貨物航空226便・ボーイング747-8F型機から、長さ4.4メートル、幅60センチメートル、重さ約60キログラムのフラップ・トラック・フェアリングの一部欠落があり、その後、成田国際空港A滑走路脇において当該航空機部品が発見された事案が発生しました。

令和3年2月にも、米国コロラド州デンバー国際空港発米国ハワイ州ホノルル空港行きのユナイテッド航空328便・ボーイング777型機が離陸直後に右側エンジンに損傷が発生したため、デンバー国際空港に引き返し、その際に郊外の住宅地等に複数の機体の破片が落下する事案が発生しています。

このことは、新ルート等においても、人命に関わる重大事故に繋がりにかねない事故が発生するのではないかと不安を区民に与えます。

貴省として、このような状況を十分に認識され、区民への丁寧な説明や更なる安全対策等に積極的に取り組むよう、下記のとおり強く要請いたします。

記

- 1 今回の部品欠落事案に関して、貴省による原因究明及び再発防止の実施要請、情報収集、追加対策を検討し、同様の事案が発生しないよう、安全・安心の確保に万全を期されたい。なお、本事案の原因及び再発防止策等については、速やかに区に情報提供するとともに、区民への丁寧な説明や情報提供を行われたい。
- 2 落下物防止対策基準などを含む「落下物対策総合パッケージ」に盛り込まれた対策の確実な運用や検証評価を行うとともに、落下物事故に対する罰則を含めた、航空会社への更なる指導の強化など、より実効性の高い落下物防止対策を積極的に検討されたい。
- 3 引き続き、貴省が設置された「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」等において、今後の航空技術の進展に伴う新たな取組、地方空港の更なる活用等による飛行ルートの分散化、海上ルートの活用など、新ルートに限らず、羽田空港の飛行経路に係る様々な運用についての具体的な検討を加速されたい。